

週間漁海況情報—第30号

平成23年7月25日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

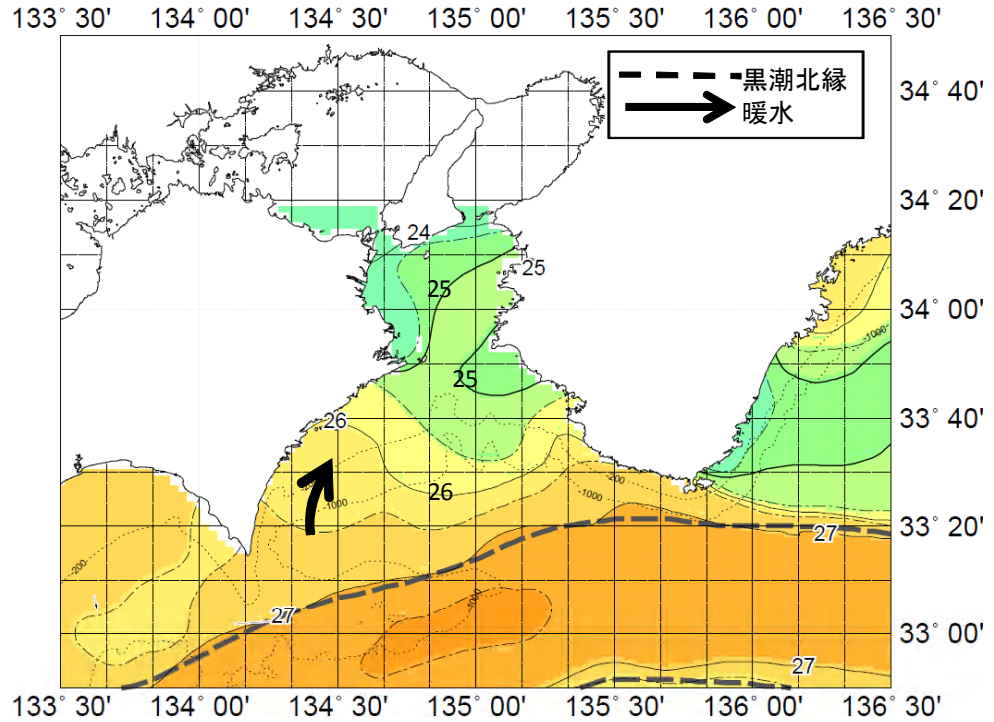
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.7.25）を示した。

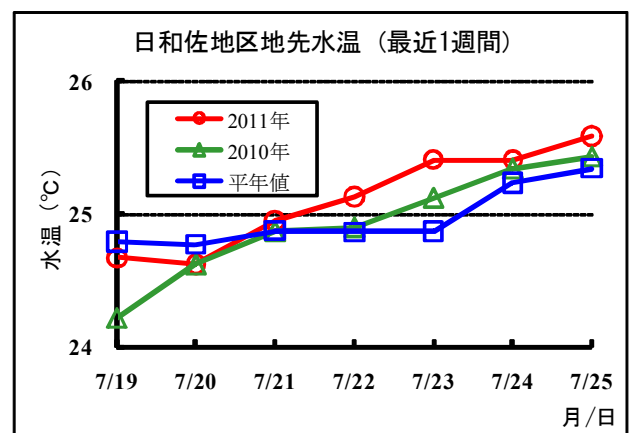
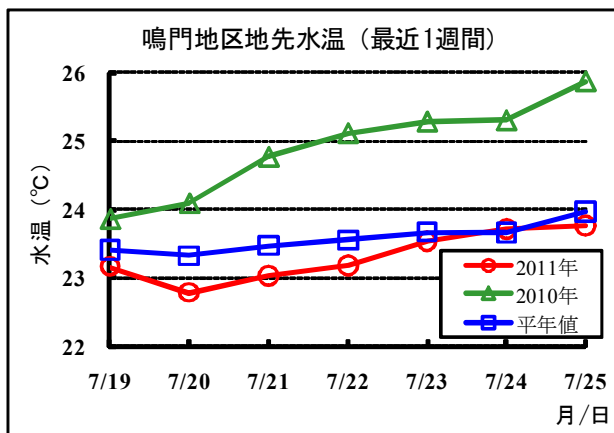
黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道で23～25℃台、海部沿岸で24～26℃台である。



紀伊水道外域の暖水波及は、先週末まで和歌山県側でみられたが、週末に室戸岬沖で黒潮が接岸したため、現在は高知県側からみられる。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の22.8～23.8℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の24.6～25.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の25.6～26.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

先週後半まで台風6号の波浪により、出漁回数が少なかった。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.4トン（1日1隻当たり70kg）、小小主体にカマス類が0.1トン（同36kg）、中・小主体にマアジが1.4トン（同128kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で小主体にゴマサバが0.1トン（同8kg）、マルソウダが0.6トン（同18kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが21.4トン（同363kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月18日～7月24日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	6	418	70	
		カマス類	3	107	36	小小主体
		マアジ	11	1,405	128	中・小主体
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	16	124	8	小主体
		マルソウダ	31	572	18	
パッチ網	紀伊水道	シラス	59	21,425	363	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の24～25℃台、日和佐地先は「平年並み」の25～26℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年7月20日～26日の海部沿岸では、延縄で大・小主体にアカムツ1.2トン、小型定置網でウルメイワシ2.7トン、カマス類1.0トン、小主体にマアジ1.0トン、マイワシ0.9トン水揚げされていた。また、紀伊水道のパッチ網でシラス37.6トンが水揚げされていた。